

GREEN RANGER NEWS

NPO 法人 蔵王のブナと水を守る会

2013/07 Vol.244

6月の活動報告

植林祭(6月9日)

白石市との共有地での植林祭は、植栽がほぼ行き渡ったため今年が最後となりました。植林祭当日は天気にも恵まれ、熱中症が心配になるほどの陽気でしたが、暑さに負けることなく、無事用意した約300本の苗木を植えました。白石市との共有地での植林活動は、この日の植林でひと区切りついたと言えます。来年からは、枝打ちなどの保育作業や自然観察路整備が植林祭に代わるイベントの中心となる活動となります。その予行演習的な試みで、今回は植林と並行して枝打ち作業も行いました。作業の後はウッドゲーム(木の名前当てクイズ)で参加者と交流を深めました。

研修旅行(6月15日～16日)

旅行の様子は丹野さんのレポートで報告いたします。

森の教室(6月23日)

午前中は植林地に自生する植物の調査について話し合いました。調査チームは後藤さんをチーフにメンバーは仲村、松尾、大槻、森山という体制で発足しました。そのあと、自然観察路を歩き写真を撮り、標本用植物を採取しました。午後は採取した植物の研究をしました。この日の参加者は6名でした。

8月の活動案内

定例会

開催日 8月11日(日)

集 合 場所のわからない方、JR 利用の方 9:30 白石市役所
自力で来られる方 10:00 苗畑(深谷)

場 所 苗畑(深谷)

内 容 苗畑の草取りと自然観察路作りを行います。

森の教室

開催日 8月25日(日)

集 合 作業小屋 10:00

内 容 自然観察路作り、ツリーハウス作り他

真山・本山お山かけ 男鹿半島旅行 報告

(6月15日～16日)

丹野 みき

お天気を気にしながらの出発でしたが、幸い2日間雨具を出すことなく済みました。

1日目は、本山山頂から門前迄歩きました。

歩き始めた地点で眼下に濃霧が立ち込めているのが見えました。少し下ると息苦しいほどの白い森の中になり幻想的な体験ができました。途中で五棟のお社が並んで建つ赤神神社五社堂という江戸時代中期の建物がありました。向拝や組み物など珍しい工夫が見られました。祀られているのは5匹のなまはげで、両親と子供3匹だといいます。鬼が一夜で築き上げたという999段の石段を下り門前へ出ました。

次に男鹿水族館へ向かいました。1時間程見学したのですが内容盛りだくさんで予想外に楽しめました。水族館は海のすぐ傍でロケーションもよかったですね。

そして男鹿半島西北端入道崎へ。夕日の景勝地入道崎は緑の大地で白黒縞模様の灯台がありました。北緯40°線上を位置するモニュメントもありました。波打ち際の岩場まで降りた人もいます。日の入りには時間が早かったので沈む夕日を見る事は出来ませんでした。海を見ながら黄金色に染まる景色を充分想像できました。

2日目、また本山山頂からこんどは逆の方向に真山神社迄下りました。

途中秋田杉の巨木の森すばらしかったですよ。道は階段状に整備されていましたが、かなり急こう配で私は膝ががくがくになり杖を借りてやっと降りました。へとへとでした。途中で下から登って来た年長者の方とすれ違い2日間かけて歩いていると話すと「ずいぶん楽な歩きだ」と笑われました。

真山神社前のお宅で男鹿半島の自然保護活動をされている方のお話を聞きながら昼食をとりました。おにぎりとかくあんだけの所に、思いがけず奥様の手料理の山菜の煮物等をご馳走になりました。宿泊先で山菜料理が出ず少し残念に思っていたので、皆、大感激で山の幸いただきました。講師は松枯れ等男鹿半島の自然環境の変化を語っておられました。地道に活動をされて色々提案もなされている様子でした。さまざまな冷たい果実ジュースもいただきながら貴重なお話を伺えました。

寒風山にもバスで登りました。大半を芝生で覆われたなだらかな山容でした。この日は快晴で360°パノラマビュー、八郎潟干拓地もよく見えました。右手と左手に海が見え男鹿半島全体が把握できました。遠くに歩いてきた真山、本山も眺められました。今回も山道を歩きながら仲村さんにたくさんの木や花を教えてもらい、男鹿の自然を満喫した2日間でした。

◆仲村さんが植林地内で見つけたケムシと虫こぶを西口先生に鑑定依頼しました。先生から回答を頂きましたので、別紙にてご紹介致します。

◆お知らせ

松尾さんの花暦コラムは休載します。8月号から再開いたします。

NPO 法人

蔵王のブナと水を守る会 事務局

〒989-0231

宮城県白石市福岡蔵本字滝下 102 TEL&FAX 0224 25-3820

ウェブサイト URL <http://www.zao.org/>

e-mail mail@zao.org